

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

○令和元年度学校経営方針「目指す学校像」より

- ・確かな学力の定着に向けて、分かる、できる喜びを味わえる授業を展開し、基礎学力の確実な定着を図る。
- ・基礎学力に課題を抱える児童への、個に応じた指導の充実。
- ・家庭と連携し、「じっくり、しっかり、くり返し」を推進する。

＜本年度の学力向上策＞

1 基礎学力の確実な定着を図る授業の研究実践

- ・本校で作成している「学びのマニュアル」をもとにした、指導方法の工夫や、学習環境の整備を行う。

令和元年度「学びのマニュアル」

○指導方法の工夫…基本的な学習の流れによる指導、授業の流れが分かる板書の工夫

○授業づくり…＜焦点化＞：目標や活動を絞る

＜視覚化＞：視覚、感覚を働かせる体験を取り入れ、実感を伴う理解を促す

＜共有化＞：個人からグループ、全体へと対話的な学びで考えを共有させる

○学習環境の整備…授業のルールの提示、全校統一の予定黒板の活用、見通しをもてる工夫

○「辞書」の積極的な活用…常に机の横に置き、国語科を中心に活用

○家庭学習の進め方の提示…学年だより等で進め方を周知、ノート指導のオリエンテーション

- ・『よい授業』集計システムの結果を活用し、4つの因子を意識した授業改善に取り組む。

- ・学習内容の「積み残しゼロ」を目指し、担任による個別指導の充実や、TTの充実、学力調査結果の活用による学習指導の充実を図る。

2 小・中一貫教育の活性化

- ・中学校教諭とともに授業を行うことで、児童の意欲を喚起させるとともに、個別の課題に応じた指導が行える環境づくりを推進する。

- ・中学校の授業を参観する等、学習内容や指導法について知ること、小・中の系統性を踏まえた指導に努める。

＜本年度の振り返り＞

